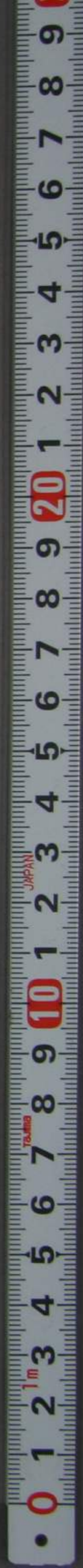


維納新聞抄譯

大藏省火
災保險取
調掛之印

4195



414
A2359



百七十九年七月十六日維納府發兌ノイエ、フライエ、ブレ

獨逸政府穀類ニ関稅ヲ課ス(伯重府投書家ヨリノ通報)

ゲームス、ウヰルソン氏曾テ實驗上ヨリ斟定シ未テ謂フ有リ曰ク凡ソ各工業ノ元ト為ルヘキ無ニ至要ノ生賃ハ穀類之ナリ故ニ苟クモ國家經濟上ノ萬機ヲ殘害スルヲ欲マサレハ須ラク之レニ課稅ヲ為スベカラスト蓋シ此語ハ英人ノタノニ至要ノ明鑑ト為リタル見ルベシ何トナレハ英國人ハ凡ソ穀物ニ関稅ヲ課スルハ海陸ノ別ナク惣テ工業ノ活動力ニ其神經ヲ截断シ去ルニ荷キテ實視シタレハナリ而テ獨逸國關稅定價表編集者ハ毫モ斯ニ思惟シ至ラス唯ク偏ニ農業上ニノニ惠助ヲ為フント着目マリ但シ然ル時ハ農民ノ須要ニシテ購求マサル能ハザル物モ亦有シク騰貴スベキガ故ニ其惠助ハ却テ適々損害ヲ買

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

フ媒タルヲ免レス況ヤ各貿易品例ハ藍煙草麻等種植、牧羊、乳酪、調製等ノ業ヲ営ム農人ハ其日用穀物ヲ全ク自ラ耕作セラルカ或ハ耕作スルモ敢テ其食用ニ填スニ足ラザレハナリ往キニハ獨逸國穀物貿易ト題マル一書ノ世ニ出テ大イニ太方ノ賞賛ヲ得タリ蓋シテ、デ、バルブリユク氏ノ編纂ニ係ルト云抑談書ハ獨逸國穀物貿易ノ開發ヲ一千八百三十八年ヨリ一千八百四十三年迄及ヒ一千八百七十三年ヨリ一千八百七十七年迄ニ係ル毎五年間ノ西期限ニ就テ器ニ討議セルモノナリ同書中各種ノ穀類及ヒ穀粉ヲ五ヶ年平均相庭ヲ以テ掲載セル計表ニ就テ視ハ蓋シ獨逸國ノ耕作ヲ事トシ其收穫ノ餘贏ヲ外國ニ輸出セシ國ヨリ衰シテ外國ノ穀類輸入ヲ仰クノ國ト爲リタルヲ著認スヘキ尤モ著明ノ確証ヲ得ヘシ穀物及ヒ粉類ヲ合セ一千八百三十八年ヨリ一千八百四十二年ニ至ル毎年平均

輸入高ハ三百四十二万六千セント子ル又輸出ノ高一千萬〇七十五万六千セント子ル其ニ一千八百七十三年ヨリ一千八百七十七年ニ至ル毎年平均輸入高ハ四千五百三十五万八千セント子ルニシテ輸出ノ高ハ二千二百〇七万セント子ルタリ故ニ年々平均二千七百二十八万八千セント子ルノ輸入増加アリタリ
更ニ同書ノ計表及ヒ美定ヲ以テ王國字編生ノ統計局長博士遠傑尔氏ノ編纂セルモノト比較参考スルニ亦頗ル有益ノ結果ヲ得同氏ハ穀物及ヒ穀粉ノ高ヲ惣テ噸數ヲ以テ美定シ而シテ一千八百七十二年ヨリ今ク七十八年マテ七年間ニ波ル數量ヲ掲ケタルヲ左ノ如シ則チ一千八百七十二年ヨリ同ク七十八年マテ輸入高一十六万七千九百七十九噸又同年間ニ係ル輸出高ハ七百六十八万二千六百〇四噸故ニ輸入ノ輸出ヲ超過スル

丁八百四十九万七千二百七十二噸タリ
 今更ニ「デルブリユ」氏著書ノ法則ニ循ク右七年間ノ平均數ヲ
 算スル時ハ則チ百二十一万三千八百九十六噸ヲ得而本數ヲ
 再々セント子ルニ改算スル時ハ二千四百二十七万七千九百二
 十セント子ルニシテ則チ前ヘノ七年中ニ係ル五ヶ年平均數ニ
 千七百二十八万八千セント子ルニ當ルモノナリ但シ一千八百
 七十二年ノ輸入高ハ唯々百三十一万九千六百五十噸一千八百
 七十八年ハ亦唯々二百五十七万七千六百九十六噸ニ過キサレ
 ヲ以テ稍々怪ムヘシト雖モ既ニ一千八百七十七年ニハ三百四
 十三万九千八百噸ノ輸入アリタルヲ回視スル時ハ其結果ハ
 又前ハニ掲クルモノト畧々相同シキヲ知ル
 其初際五年ニ於テ獨逸関稅結約國ニハ當時ノ人口ニ割付ク
 ルニ但シ輸入穀高ヲ加算シ二十七磅ノ裕餘アリテ之ヲ輸出シ

得タリトイヘトモ其末期五年ニ於テハ同シク當時ノ民口ニ割
 付ルニ其輸出高ヲ除算シ外國ヨリ輸入ヲ要スル穀物各人ニ付
 キ六十五磅ニ至リタリ故ニ右輸出入差引決算高ハ各人ニ付キ
 九十磅ノ差ヲ生シタリ畢竟穀物出入増減ノ甚々非常ナリシヲ
 知ルヘシ
 代價ノ昂低変化ニ亦茲ニ甚ク關係アルモノナリ則チ一千八百
 三十八年ヨリ今ク七十七年マテノ五ヶ年平均代價
 逐次左ノ如シ

小麦代價	ハ「マルク」一八	ハ「マルク」九八
七「マルク」四九	一ニ「マルク」〇七	九「マルク」九三
九「マルク」三一	一「マルク」四〇	一「マルク」四七
裸麦代價	五「マルク」五三	七「マルク」五〇
五「マルク」四五	九「マルク」五七	七「マルク」三〇

七「マルク」一七	八「マルク」六七	九「マルク」一七
大麦及ヒ燕麦代價	四「マルク」七〇	六「マルク」四四
四「マルク」八五	七「マルク」一五	六「マルク」七六
六「マルク」六一	七「マルク」八二	八「マルク」八三
燕麦代價	四「マルク」六四六	四「マルク」七三
七「マルク」四七	六「マルク」五二	六「マルク」四〇
七「マルク」五四	八「マルク」六三	
一千八百七十八年ノ農事統計表ニ據リ小麦、裸麦、燕麦、蕎麦等ノ輸入超過高ハ二千七百万「セント」子ビニ及ヒタルト蓋シ己ニ明著ナリ保ニ一千八百三十八年ヨリ凡ソ諸種穀類ノ代價總テ著シク騰貴マシト亦正確ニシテ疑フ容カラカル所ナリ其他彼ノ獨逸國穀物貿易史ニ據ルニ外國ヨリ穀物輸入高ノ増加ハ未タ以テ内國ニ増殖セル人民ノ需用ヲ填スニ足ラス保テ尚ホ内		

國ニ於ケル耕作高モ五千四百萬「マン」ト子ルノ増加ヲ要セシト
 明カナリ蓋シ輸入ノ高超過スルモ決テ之レ獨逸國農事經濟退
 歩ノ徴ト謂フベカラス則チ同國農事經濟ハ其穀物ヲ製造上ニ
 轉用シ及ヒ製糖、蒸ヲ植種シ更ニ約言マハ他ノ殖産ヲカノラ以
 テ増加需用ニ供スルヲ以テ其得策ナリト認定セリ
 其他勸農卿「フリ」デント「ル」氏ノ行政報告書ニ據ルニ近來穀
 物耕作ハ飼料ノ植種ヲ前進セシムベキ為メ讓テ自ラ退却ス蓋
 シ目下ノ現状ニ依リ牧羊ハ穀物植藝ヨリ其利益迴カニ大ナル
 モノナリト
 以上實際工ニ能ク認定シ得タル情況ニ及シ今者穀物保護稅ヲ
 課セントスルモノハ抑々何等ノ意義ソ各人ハ為メニ深ク驚恐
 セザル能ハズ夫レ保護稅ヲ課スルニ方テハ必ス先ツ其保護セ
 ント欲スル物品ハ己ニ内國ノ需ハニ供給スルニ足ルヤテ豫定

フル一要件タリ然ルニ獨逸國農事經濟ノ現状ハ此職務ヲ充
ス能ハスシテ年々ニ千七百萬マント子ルノ不足ヲ負ヘリ
又保護稅ヲ行ハント欲セハ苟クモ尋常事物ノ常理ヲ知ラハ其
保護ヲ受クル職業ハ外國ノ競争ヲ抑制スルノ後ヲ益々多ク生
産シテ能ク内國ノ市場ヲ豊饒ナラシムルヲ期スヘキヤ否ヤト
ハ必ス豫メ之ヲ算定スルヲ要ス然ルニ目下獨逸ノ狀ハ余ク之
レニ及マリ該國農事經濟ハ諸般ノ勉勵及ビ起業ヲ以テ連リニ
地カ耕作ニ推シ移ラントテ希望シ現ニ人口鮮少ノ地方ヲ除ク
ノ外ハ穀物耕作ノ業ヲ営ムノ意ナシ今虛心ヲ以テ考フルニ穀
物ノ關稅ハ復々農民一般ノ利益タルトテ看出シ得ス却テ唯々
僅々少數ノ人ヲシテ專賣ノ利ヲ壟斷セシムヘキノミ
但シ内國ノ需用ハ自國ノ殖産ヲ以テ供給スルニ足ルベキヤ否
ハ措テ毫モ問ハサルモ若シ之ヲ外國ニ求マルハ能ク低價ヲ

以テ購得ラルベキカ故ニ僅々内國ノ耕作人ヲシテ專賣ノ利ヲ
私マシムルハ大ニ得策ニ非ルヲ如何ン保護稅ヲ置クノ害ハ公
衆則チ貴消費者ニ何等ノ疾苦ヲ受ケシムヘキヤハ淺タ予ノ之ヲ
本紙ニ贅言スルヲ須ヒス唯々人重テ茲ニ思フベシ凡ソ富裕者
ハ肉食ヲ專トシ以テ麩包ノ大部分ニ代フルガ故ニ其食料中穀
物ニ拂フ所ハ僅々ノミ抑々方今ノ如ク勞力ノ需求少ク供給多
キ日ニ於テ其課稅ヲ富有者ニ負ハシメントスルハ此又能スベ
キニ非ス因テ他ノ衆庶富裕ヲ以テ其糧食ト為ス者が大ニ購賣
力ヲ減殺シタル時ハ其影響更ニ全工業上ニ波及シ内國ノ市場
モ是ノ保護稅ノ為メニ多量ノ需求ヲ減スベシ夫レ如斯クナル
片ハ經濟上百般ノ荒敗ヲ未シ損害續々トシテ遂ニ其レ底止ス
ルナカラシ

伯靈七月十三日

ウース

六歳

Blank page with faint bleed-through from the reverse side.

Blank page with a red-lined writing area. Faint bleed-through is visible at the top. On the right edge, there are vertical red characters: 大藏經 (Dazaijing).

